自由民主党

世田谷区議会議員 和田ひでとし通信 第四号



ごあいさつ

長く暑い夏も、ようやく朝晩に秋の気配が感じられるようになりました。世田谷区の区民まつり、花火大会はじめ、各地区での盆踊り大会、ラジオ体操など、夏の行事がいろいろ行われましたが、皆さんの地区ではいかがでしたか。

今年は全国各地で大雨による水害が頻繁に起こっています。温暖化の影響なのか、明らかに気象状況が変わってきているようです。地震に対する備えはもちろんですが、都市型水害への対策も考えなければなりません。そのためにはまず地域力です。

今後も地域の絆づくりをしっかり取り組んでまいります。

2012年8月 発行
世田谷区議会議員　和田 秀壽
〒158-0083
東京都世田谷区奥沢 1-40-2
電話 03-3720-3542
FAX 03-3720-6928

奥沢交和会盆踊り大会



7月21日・22日に行われた「奥沢交和会盆踊り大会」

今年も恒例の奥沢交和会盆踊り大会が奥沢小学校校庭を会場に行われました。38回となる今年の盆踊り、やぐらの組み立て・解体、模擬店15店の出店には地域の商店会や団体が協力してくださり、小学生42名の太鼓出演は町会青年部と地域の有志の方・学校の全面的な協力による練習を6日間行いました。



奥沢小学校音楽室を借りて太鼓の練習をする小学生

町会と学校の連携に併せて、地域のたくさんの団体が協力して作り上げるこの盆踊り大会は夏の一大イベントになり、まちの絆づくりには欠かせないものとなりました。

奥沢駅前音楽祭



奥沢駅前噴水広場の特設ステージで行われた太鼓の演奏

5月26日・27日の2日間にわたり、今年で10回目となる「奥沢駅前音楽祭」が開催されました。今年も奥沢駅前噴水広場に特設ステージがつくられ、周辺の各商店会で同時開催された、バザー・フリーマーケット・模擬店・世田谷産野菜の即売・・・好天にも恵まれた2日間、大勢の来場者で賑わいました。





周辺の商店会で開催された催し物

この音楽祭は、世田谷区の「商店会イベント支援の制度」を活用した取り組みです。回をかさねる毎に定着してきており、地元の恒例行事として街の活性化につながっていくといいですね。

平成24年度 都市整備常任委員会 行政視察　7月11日～12日

● 福井県福井市 賑わいのあるまちづくり 中心市街地活性化

まちなかの魅力向上をめざし、「賑わいの道づくり事業」により誰もが楽しく安全に駅周辺を回遊できるよう、地元商店街と連携して電線類の地中化や景観に配慮した舗装などに取り組んでいます。



市電福井駅前

● 岐阜県各務原市 住みよい都市づくり 水と緑の回廊計画

緑化推進の取り組みとして、公園都市の実現に向けて「水と緑の回廊計画」を策定し、潤いのある生活環境と良好な景観を創出するとともに、民有地の緑化も積極的に促進しています。



大学移転跡地の利用「学びの森」

平成24年度 自由民主党世田谷区議団・新風 視察　8月6日～9日

● 北九州市 北九州スマートコミュニティ創造事業



市と地元企業が実施主体となって、広大な工場跡地を再開発することで、高度な都市基盤と環境共生を両立させた次世代のまちづくりを推進しています。

また、再生可能エネルギーを活用して CO2 排出量の 50% 削減をめざす、地域節電所を設置しています。

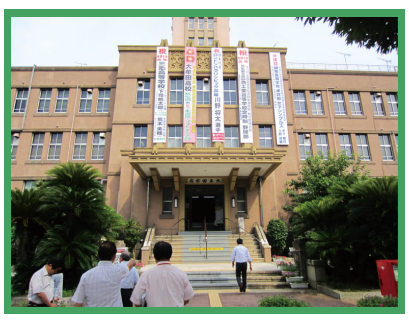
● 熊本県 認知症対策について



県民がより身近な医療機関で相談し、認知症の早期発見・治療につなげることができるように、「熊本モデル」とよばれる独自の認知症疾患医療センターの体制を整備しています。

さらに、介護体制や地域支援体制の強化にも積極的に取り組んでいます。

● 大牟田市 議会制度改革の取り組みについて



平成22年に議会基本条例を制定しました。

市民の意見に耳を傾け、議会活動を報告するために地域へ出向いて、定期的に議会報告会を実施しています。住民に開かれた議会への取り組みをめざしています。

● 南九州市 知覧特攻平和会館 平和事業について

お話を聞き、見学をして、改めて平和の大切さ、ありがたさ、そして命の尊さを正しく後世に伝えていくことが重要であることを学びました。



和田ひでとし報告会の予定

①	10月22日（月）	19:00～	東玉川地区会館
②	10月23日（火）	19:00～	奥沢区民センター
③	10月27日（土）	19:00～	九品仏地区会館

以上の予定で報告会をさせていただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。ご意見等もぜひお聞かせください。

今後の予定

※詳しくは区のお知らせまたは和田ひでとし迄

世田谷区議会第３回定例会
9月19日（水）～10月19日（金）

世田谷区制 80 周年記念式典
10月　8日（月）

九品仏小学校６０周年記念式典
10月13日（土）

奥沢区民センター文化祭
10月20日（土）～21日（日）

世田谷に緑いっぱいチャリティ講演＆コンサート
11月　3日（土）

後援会入会のご案内

和田ひでとしを応援してくださる皆さまに、後援会入会のご案内をさせていただいております。「新年会」や「初夏の集い」の開催など、皆さまと共に作り上げていきたいと思っております。

和田ひでとし後援会についてのご質問やご入会方法など、詳しくはホームページ上の入会フォームや電子メール、または 和田ひでとし までお電話やファックスでお気軽にお問い合わせください。おまちしております。

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！
和田ひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com

平成２４年第２回定例会 一般質問

2012年６月15日の一般質問より。

■ 梅ヶ丘病院跡地利用検討の区民への情報提供のあり方

【質問】５月３０日の日経新聞朝刊に、区の梅ヶ丘病院跡地利用検討についての記事が掲載されていました。

跡地利用基本構想・調整プラン素案は、今年４月に議会報告されていますが、跡地の取得はこれから議会でも議論したうえで今年の秋に判断すると聞いていましたが、もう何かが決まったとれるような内容でした。

世田谷区の保険医療福祉の拠点づくりは区民にとって大変重要なことだけに、区の情報提供や区民への情報周知については、もっと丁寧に慎重にやっていただきたいと感じました。

例えば、保健センターの移転については、玉川地域の区民にとっても大変重要な問題であります。現在の三軒茶屋ならともかく、梅ヶ丘まで行って検診を受けるようになるのは、交通の便を考えれば誰しも不安に思うのではないでしょうか。現在の三軒茶屋であれば大井町線沿線から二子玉川乗換で行けますが、梅ヶ丘へとなると、さらに渋谷まで行って乗り換え、下北沢で乗り換えてと、かなりの時間と労力を要します。そこで、たとえばですが、近い将来開通予定の道路、補助１５４号線に、バス路線の導入によって、等々力～梅ヶ丘間のアクセスができれば、と願うのは私だけではないと思います。保健センターについては移転を中心に考えているということですが、どのような機能が充実され、地域や地区との連携がどのようになるのか、区民にもっと丁寧に説明して理解を深めてもらう必要があります。

また日経新聞記事では、梅ヶ丘病院跡地に拠点が整備されると、すべて１か所で区民の相談等が受けつけられ、ワンストップサービスになり、便利になる反面、わざわざそこに行かなくてはならないのかという不安につながってしまいます。高齢者の相談や支援については各地区で、あんしんすこやかセンターが機能しており、その充実を推進している私としては、正確な情報をしっかりと区民に伝えてほしいと思うのです。

区の保健医療福祉の拠点づくりは、高齢者・障害者だけでなく、区民誰もが安心して住みなれたところで暮らしていける地域づくりを進めている、区の保健福祉施策を展望したときに、拠点整備は私も力を入れて取り組むべき重要な課題と考えています。

だからこそ、区は、区民にもっと情報をしっかり出して理解を深めることや、不安があれば解消する努力をしていく必要があるのではないでしょうか。

区長は情報公開、対話を重視するといっているのですから、梅ヶ丘病院跡地利用に関する取り組みについても、これまで以上に丁寧な情報提供を行い、区民の意見を幅広く聞いていくべきではないでしょうか。

区の見解を伺います。

【梅ヶ丘整備担当部長による答弁】梅ヶ丘病院跡地利用では、高齢者、障害者の地域生活を支える拠点機能に加え、広く区民の健康を守り、創造していく機能の整備も目指しております。お話の保健センターにつきましては、現在の機能を拡充しつつ、老朽化した施設を移転して更新することで、これまで以上に区民の健康づくりを支える拠点としての機能を強化していくことをめざしております。また、多くの区民の皆様にご利用いただく拠点機能を備えておりますので、広く区民の皆様に、ご指摘の身近な地域地区でのサービスとの関係や、交通アクセスを含め、区の計画を充分ご理解いただくことも大きな課題だと考えております。交通アクセスに関しましては区民のご関心も高く、今後とも広報やホームページの活用に加え、関係団体の皆様や地域の区民の方と直接お会いして、きめ細かく意見交換を行うなど、区の計画の周知に努め、拠点整備に向けた区民の皆様のご理解を得るよう努力してまいります。

■ 認知症予防と家族支援の体制強化



奥沢区民センターで行われたハワイアンショー

【質問】世田谷区においても、高齢化の進展に伴い認知症高齢者がさらに増加する傾向が見込まれています。私の周りにもまだまだ働かなければならない世代なのに、高齢の認知症の親をかかえて悩んでいる友人が何人かいます。働き盛りの世代にとって、高齢の親をかかえながら、仕事を続けなければならない現実があります。私も健康で長生きが改めて大切だなとつくづく実感するようになりました。そこでまず、認知症にならないための予防が第一であることはいうまでもなく、早期発見と合わせて区としても引き続き、しっかり取り組んで欲しいと思います。

さらに、認知症の親をかかえる家族の支援体制ですが、このようなことで悩んでいる家族の実態はなかなか数字に表れにくい部分もあるのではないでしょうか。相談できる窓口があるのに利用しない、あるいはその窓口さえも知らない、そういう方もけっこういるのではないでしょうか。働き盛りやそろそろ定年を迎える世代で、認知症の親をかかえる家族支援の取り組みについてはこれまでもいろいろと実施されてきているようですが、２４年度に新たな取り組みがあると聞きました。そこで、この新たな取り組みとはどのようなものなのか改めて伺います。

さらに高齢者の問題を気軽に相談できる窓口として、あんしんすこやかセンターがありますが、その役割は今後ますます重要となってくると思います。いうまでもなく区民にとって地域で一番たよりになるべき、出張所・まちづくりセンターとあんしんすこやかセンターが同じ場所で一体化されていることが理想だと思います。現在このように一体化されているのが１１ヵ所、２６年度までにさらに３か所が一体化される予定と聞いています。

まちの中のあんしんすこやかセンターがさらに誰もが気軽に相談できる窓口として、また出張所・まちづくりセンターと一体化されていない地区では、さらなる連携をしていくために地域に根ざした工夫と努力が必要です。

区の見解を伺います。

【地域福祉部長による答弁】認知症の早期発見と家族支援については、パイロット事業として、新たに身近な地域で医師に相談できる「物忘れチエック相談会」及びご本人に受診拒否がある場合等に、自宅に医師と保健師が訪問して相談を受ける医師による訪問相談モデル事業を今年度から実施いたします。「物忘れチエック相談会」は５地域で年２回ずつ予定しており、「区のお知らせ」や、あんしんすこやかセンター、総合支所保健福祉課を通じて周知したところ、今年度前半５回の日程については予約が満員となっております。

事業の実施状況につきましては、今年度に新設いたします仮称世田谷区認知症在宅支援センター構想等検討委員会の検討にも反映しながら、認知症対策の体制強化について取り組んでまいります。

次に、まちづくりセンターとあんしんすこやかセンターの連携についてお答えをします。

あんしんすこやかセンターは高齢者の身近な相談窓口として、認知症予防や介護されている家族の方々から、その様々な相談をお受けし、支援を行っております。あんしんすこやかセンターが、その機能を充分に果たしていくためには、機能や役割を地域の方々に広く知っていただくとともに、日頃から地域の方々との顔の見える関係づくりが重要であることから、地区まちづくりの中心である出張所・まちづくりセンターとの連携の充実が重要であると認識しております。

そのため、施設の一体化にも積極的に取り組んできているところです。一体化により地域の方々が出張所・まちづくりセンターにいらした際に、あんしんすこやかセンターにも

相談するなど、相談件数も増加しております。認知症予防や介護されている家族への支援等、あんしんすこやかセンターがより一層機能を発揮し、その役割を果たすために、今後さらに出張所・まちづくりセンターとの連携を充実させてまいりたいと考えております。

■ ひとりぐらしの高齢者会食サービス



会食の献立

【質問】高齢化がますます進むなかで、健康で長生きできることをだれもが望んでいます。

「物が栄えて心が滅びる」とよくいわれますが、現代社会は、家に居ながらにしてなんでもできてしまうほど便利になり、外へ出かける機会は減るばかりになってしまいました。ますます家に閉じこもりやすい環境になっています。

私の住んでいる奥沢・東玉川地区では６５才以上の人口比率が２２．２％と大変高齢者の多いところです。そんななか地区での高齢者の取り組みも盛んで、月３回のグランドゴルフは地元の小中学校３校を順番に会場にして行われ、毎回大変盛況です。また東玉川地区会館での高齢者のための「ふれあいルーム」の取り組みは、ほぼ毎日午前・午後、いろいろなカリキュラムが組まれ、地元のボランティアの皆さんのお世話で高齢者の方々のお出かけ場所となっています。その中のひとつに昼食の会食サービスがあります。区内各地区で行われているようですが、閉じこもりになりがちな、ひとりぐらしの高齢者にとってはとても楽しみな、また大切な取り組みとなっています。メニューは季節に合わせた素材で、栄養バランスもしっかりと考えて組まれており、おいしい食事と、楽しいおしゃべりのひとときは、お世話しているボランティアの方たちの努力によって続けられています。１食４００円は価値ある内容だと聞いていますし、私も実際に食べさせていただきましたが、あまりのおいしさにびっくりしました。やはりここには人と人が接する温かさがおいしい料理を演出してるのだと感じました。

さて、この会食サービスはこれからも高齢者の増加が見込まれる中、健康で長生き、また見守りという面で、大変有効かつ大切な取り組みですので、これからも区の支援をしっかりお願いしたいと思います。

区の現状と今後の課題について伺います。

【地域福祉部長による答弁】ひきつづきひとり暮らしの高齢者会食サービスの現状と今後についてお答えをします。

ひとり暮らし高齢者会食サービス事業は、週１回から月１回、地区会館等でボランテイア協力員が調理した食事を会食することにより、地域の方々との交流を図り、健康保持及び介護予防、そして閉じこもり予防や見守りに寄与することを目的に実施しております。

実績といたしましては，平成２４年３月の利用者数が５９２人、協力団体等が３２、年間の総提供食数は１万２０５食となっております。課題として、協力員が年々減少していることが挙げられます。これは、ボランテイア協力員の高齢化が進み、活動をやめられる方が新しく活動を始める方を上回ることによるものです。区では、「区のお知らせ」により協力員の募集を行っておりますが、十分な協力員の確保は難しく、事業全体も年々縮小傾向にあります。

今後、地域の方に新たにボランテイアの担い手になっていただけるよう、社会福祉協議会で実施しているふれあい福祉入門といった地域福祉の人材育成研修の中で活動の場としてご紹介する、あるいは世田谷生涯現役ネットワークや老人会館の生涯現役情報ステーションに活動内容の情報提供やボランテイア募集の働きかけを行う等、様々な機会をとらえて普及啓発を行い、協力員確保への支援に、より一層取り組んでまいります。

今回の一般質問では、高齢化対策を中心に取り上げさせていただきました。誰もが健康で長生きできることを望んでいるなか、それぞれの地域での活動は様々な課題とともにあります。梅ヶ丘病院跡地問題・認知症予防と家族支援の体制強化・一人暮らしの高齢者会食サービス等、これからますます高齢化が進むと予想される中、地区から地域、そして区へとの連携がさらに重要であることを再認識いたしました。